



# こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047(752)0453 植田 進 ☎047(487)9754  
伊原 忠 ☎047(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>  
共産党控室メール [kyousan@city.yachiyo.chiba.jp](mailto:kyousan@city.yachiyo.chiba.jp)



第275号

2016年7月11日

発行

日本共産党  
八千代市議会議員団

八千代市大和田新田  
312-5

## 阿蘇小学校の存続を求め要望書提出

「阿蘇の地域と学校を考える会」は、阿蘇小学校の存続を求めて、秋葉市長と5月24日、教育長と6月30日に要望書を提出し交渉しました。秋葉市長は「まだ市長として決断はしていない」と答えました。この要望には阿蘇小学校の存続を求める地域住民1,132筆の署名が添えられました。わずか1か月足らずで該当地域の約7割の世帯が署名するなど、地域の人々の強い気持ちが表れています。なお交渉には伊原忠議員が同行しました。

八千代市は地元住民に十分な説明をしないまま阿蘇地域3小学校の阿蘇小学校、米本小学校、米本南小学校を統廃合しようとしています。これに対して地域住民へのていねいな説明と話し合いを求め「阿蘇の地域と学校を考える会」が立ち上がったものです。

## 学校統廃合の説明・話し合いを地元住民に

「考える会」は、学校統廃合を教育委員会が決定する前に当該地域住民とていねいな話し合いを行うことを求めました。これに対し教育長は「阿蘇小、米本小、米本南小の3校を一つにするという案の他に、小中一貫校も展望しながら別の案も検討している」、「答えられるところまで検討が進んでいないので説明できない」、「阿蘇小学校の存続を求める地域の人々の意見は聞きます」などと答えました。教育長らの発言からは、具体的な説明会や話し合いについては、いろいろ理由を付けて避けながら、3小学校の統廃合の方針は変えないという姿勢がうかがえました。市として該当地域の方々に説明責任をはたし、話し合うということは、行政として初歩的で基本的な対応ではないでしょうか。



## 「私たち抜きに私たちのことを決めるな」

「保育園もなくなり、病院もなく、スーパーもなく、さらに学校まで取り上げないで」と阿蘇地域の方は訴えました。阿蘇小学校は140年の歴史があり阿蘇に残された地域のシンボルでもあります。学校の存在は、地域の将来にもかかわる重大事です。全国各地で起きている地域の衰退は小学校の統廃合とも深くかかわっています。

伊原忠議員は6月議会で、「地域の阿蘇小学校を存続させたいという大多数の地域の声をどのように受け止めますか」とただしました。教育長は「阿蘇小学校が地域の皆様から親しまれていると実感いたしております」と答弁。「存続を求める」という地域住民の声に向き合った答弁は聞かれませんでした。

地方自治で大事なことは、住民自治であり民主主義です。「私たち抜きに私たちのことを決めるな」という声は当然です。大事なことは地域の意思です。阿蘇の地域のことは阿蘇の地域の人びとの意思を最大限尊重した行政の対応が求められます。